

ほんにんたいかい だい ばん か かい
本人大会 第5分科会

(秋田ビューホテル)

[ほんにんかつどうをがんばる]

かくけん ほんにんかつどう しょうかい たの じょうほうこうかん
各県の本人活動の紹介、楽しかったところ、これからやりたいことなど情報交換をする。

かい ひと さとうたけとし ほんにんたいかいじつこういんちよう
会をすすめる人 佐藤武敏 本人大会実行委員長
ささき じゆん ほんにんたいかいふくじつこういんちよう
佐々木 淳 本人大会副実行委員長
しえん ひと よこおやすり ゆめ きわめじゆく あしたば
支援する人 横尾寧則 夢・究塾 明日葉

はつびよう
発表するグループ

あおもりけん せいじん せいじん せいじん
<青森県> レインボー青森 <岩手県> いわて青空の会
みやぎけん せいじん せいじん せいじん
<宮城県> みやぎフレンズ会 <福島県> スタートライン
やまがたけん せいじん せいじん せいじん
<山形県> ひまわり会 各駅停車の会
あきたけん せいじん せいじん せいじん
<秋田県> 光の会 たんぼの会

せわにん たかはし
<世話人 高橋>

ただいまから第5分科会始めたいと思います。世話人を務めます秋田県手をつなぐ育成会の高橋です。

ぶんかかい すず かんけいしや しょうかい しかい つと ほんにんたいかいじつこういんちよう さとうたけ
分科会を進める関係者をご紹介いたします。司会を務める、本人大会実行委員長の佐藤武敏さんです。

それから司会者を補佐する、本人大会副実行委員長の佐々木淳さんです。

会の進行を支援する、秋田市の夢・究塾明日葉の横尾寧則さんです。

本分科会の時間は12時までです。終了次第解散となります。

ぶんかかい すず しかい つと ほんにんたいかいじつこういんちよう しょうかい
分科会の進め方ですが、各県で活動している本人活動をそれぞれの会の代表者から紹介してもらいます。それに対し、質問や意見交換を行いながら情報を交換いたします。お互いにお仲間の活動状況を勉強し、大会後それぞれの活動に生かしていただきたいと思います。それでは司会の佐藤武敏さん、よろしく願いいたします。

しかいしや さとうたけとし
<司会者 佐藤武敏>

しかい つと さとうたけとし
司会を務めます佐藤武敏です。

きょうされん あきたりようしやぶかい かい かいちよう ほんにんたいかい じつこういんちよう おな
きょうされん秋田利用者部会「たんぼの会」会長で、本人大会の実行委員長です。同じく「たんぼの会」の副会長の佐々木淳さんと一緒に分科会を進めますのでよろしくお願い致します。

じこしょうかい をささせていただきます。僕は藤里町にある「虹のいえ」というところで、日中活動は「まいたけセンター」に実習に出かけています。今は収穫の時期で忙しい毎日です。趣味はソフトボールです。毎年ソフトボールクラブでは、エースピッチャーとして大会に出場しています。去年は県北ソフトボール大会で準優勝しました。これからも実習やクラブ活動を頑張り

たいです。今日はよろしくお願ひします。
佐々木 淳さん、お願ひします。

<司会者補助 佐々木>

私の名前は佐々木 淳です。年は39歳でバリバリの働き盛りです。生活の場はケア・グループホームを利用しています。日中の活動は、三種町にある「地域活動支援センターみたね」で、ゴムパッキン作業に取り組んでいます。趣味はカメラ撮影と音楽鑑賞で、AKBのファンです。今日はよろしくお願ひします。

<司会者支援者 横尾>

それでは、これから第5分科会を武敏さんの進行で始めさせていただきますが、その前に私から2つほど皆さんにお願ひをさせていただきます。

1つ目ですが、今日発表される順番はこの大会資料の45ページに載っているとおりで、発表するグループは、青森県のレインボー青森さんから、最後は秋田県のきょうされん秋田利用者部会たんぼの会、この名簿の載っている順番に発表をしていただきます。発表される方は、前の方に出てきていただいて、発表してください。

2つ目ですが、同行されている職員、あと保護者の方にお願ひいたします。この会第5分科会、本人の利用者さんの本人の部会ということで、本人さんたちの活動の発表と、活動の発表のあとはご意見とかご質問とかを受ける時間を設けております。ただどうしてもご本人さん発表しづらいとかそういう場合には、保護者さんとか職員さん同行されている方、なるべく本人の意をくんで、ご本人さんに発表してもらったり、それが難しければ代わりに保護者とか職員の方からご質問いただいても構いませんので、ご協力をお願いいたします。それでは武敏さん、お願ひします。

<司会者 佐藤武敏>

活動の紹介は10分ぐらいでお願いします。最初に青森県のレインボー青森からの活動を紹介してください。

<レインボー青森 外川>

おはようございます。私はレインボー青森の会長をやっております外川といいます。よろしくお願ひします。青森県育成会の中に事務局があります。

会員数が今、全部で56名です。青森支部が31名、八戸支部が23名、弘前支部が2名ほど入っております。

全体の組織ですが、会長1名、副会長2名、役員が10名ほどです。一番気になるのが、年会費を2,000円払っております。この2,000円というのが何に使われているかというのと、お知らせ文書の発送代や役員会の旅費などに使われております。

平成24年度の活動内容ですが、全体行事、県内全域を対象としました。第10回総会、平成24年の9月26日です。青森市の県総合社会教育センターというところで総会を開いて

おります。副会長補欠選挙とか分科会とかそういうことをやったりしてあります。

次に合同レクリエーションを平成24年10月21日、八甲田牧場憩いの牧場で、バーベキューとかみんなで遊んだりとか、そういう行事をしてあります。

次が本人による本人のための相談会がありまして、平成24年の11月4日、県民福祉プラザで、講師はみやぎフレンズ会から来ていただいた。多分今日もここにいると思いますが、樋口さんに来てもらいました。この場を借りて厚く御礼を申し上げたいと思います。

会報2回発行してあります。17号、18号と出していますが、17号が平成24年11月25日に発行してあります。18号の方が平成25年3月24日に発行してあります。その他として、各支部でカラオケとか忘年会、新年会、ボウリング、お料理教室などを開催してあります。

平成25年度の全体行事の方で一番最初にやったのが第11回総会25年6月23日、場所は、社会教育センターでやりました。役員選挙、分科会（レク・防災について・しゃべりば）、その場に今回初めて取り入れてみました「知る見るプログラム」というのがありますが、それをやってみました。この「知る見る」を初めてやってみたが、うちらの方の役員の人たちと話ししてやってみたら、反省してみたら、結構やり方がわからなくて滅茶苦茶でした。でもまたやりたいという話も出ていました。

次が合同レクリエーションですが、平成25年9月15日八戸市の種差海岸に行きました。ちょっと雨降りで散策ができなくてとっても残念だったと思ったが、ちょっと降りるとこもあったので良かったかなと思っております。外でバーベキューとかいろいろやる予定でしたが、外でやれなくてほかの施設の食堂を借りてみんなでバーベキューを食べたり、おにぎりや果物などいろいろご馳走になりながら行ってきました。

次に、私たちにとって一番大きい行事が今年あり、10周年記念事業を予定してあります。日にちが、平成25年10月27日です。会場は、しあわせプラザで10周年をやると思っております。

ちなみに中身ですが、毎年青森で結構やっている、スキルアップ研修会をやろうかなと思って、それとあと、先ほども言った「知る見る」とかもやろうかなと思っていて、一応講師に、「知る見る」の担当で結構名前が知られている、神奈川県のアラサキさんを講師で呼ぼうと思ってあります。それと、そのほかにいろいろ10周年をやったりとか、そういうことをしようかなと思ってあります。

会報でまた今回も2回ほど作りたくて思っております。19号が平成25年10月から11月頃になると思っています。20号が平成26年2月から3月ごろになると思っています。できたら皆さまの方に送りたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

最後になりますが、先ほども話したと思いますが、私たちのレインボー青森はおかげさまで今回10周年を迎えることになりました。これからも皆さま、本当によくお願ひしたいと思ひ、ご支援ご指導のほどをよろしくお願ひしたいと思ひ私を発表を終わりたいと思ひます。ありがとうございました。

<司会者 佐藤武敏>

ありがとうございました。ただいまの発表に、質問やご意見などありませんか。なければ進め

ていきます。よろしいでしょうか。

つづいて、いわてけん あおぞら かい かつどう しょうかい
続いて、岩手県のいわて青空の会の活動を紹介します。

<いわて青空の会 下道>

いわて あおぞら かい したみち
岩手あおぞらの会の会長をやっております下道と申します。今日は岩手あおぞらの会について、しょうかい
紹介をしたいと思います。

いわて あおぞら かい じむきょく いわてけんいっせいかい ひろ いわてけん いわてけんかくち
岩手あおぞらの会は、事務局が岩手県育成会にあります。広い岩手県ですので岩手県各地か
らあつ かつまわっている とうじしやだんたい おも せいそうかつどう けんしゅうかい らいげついくせいかい けんたいかい
が集まっている 当事者団体で、主に、清掃活動、研修会とか、来月育成会の県大会あります
が、その実行委員とかをやっております。また、岩手県の各障害者団体の委員会とか、各
きょうぎかい いん さんか けん しょうがいしや じりつしえんきょうぎかい いん ちいきいこうぶかい けん
協議会にも委員で参加しております。県の障害者自立支援協議会の委員と地域移行部会と県
ぎやくたいたいさくすいしんきょうぎかい いん か も
虐待対策推進協議会の3つの委員という掛け持ちをしております。

きょう なか
今日この中で、ここ最近で勉強になったことを紹介していきたいと思います。

みな けいたいでんわ も わたし せんだい
1つは、皆さん携帯電話持っておりますよね。スマートフォンも持っていますよね。私が仙台
べんきょうかい さん か と き けいたいでんわ べんきょう わたし ねんはんけいいたいでんわ
で勉強会に参加した時に、携帯電話のことに勉強してきました。私も9年半携帯電話
つか さいしよ ころ ぎ へん でんわ き たど
を使っておりますが、最初の頃はワン切り、あの変な電話来ますよね。例えば03とか01とか。
そういうワン切りが来たり、あとは変なメール。例えば何とかという紹介がありますからぜひ勧誘
してくださいというのがありましたが、私は全部拒否しました。そこで私は何をしたかという
けいたいでんわ か でんわ かん し でんわ いつさいむし の き
携帯電話のメールアドレスを変えて、電話に関しても、知らない電話は一切無視して乗り切りまし
た。今現在、変なサイトというのは度々あると思いますが、私からお願いすることは変な電話、変
いまいげんざい へん たびたび おも わたし ねが へん でんわ へん
なメールが来たら、一切拒否してください。やってしまうこともあります。その時は支援センター、
とうほくかくち とうじしや
東北各地に当事者のセンターとかありますが、そこにわからなかったら聞いてください。もしわか
らぬときは、携帯電話の店、ドコモとかauとか、あとソフトバンクとか、資料の中には入れ忘
れましたが、ウィルコムという携帯会社とかイーモバイルというのがあります、その店に行っ
て「携帯電話のワン切りについてどうしたらいいですか」とか「変なサイトが来てるので、どうす
ればいいですか」と聞いてもらえれば、多分わかりやすく説明すると思いますので、そこはぜひ活用
してください。

わたしじしん わかしへん ぎょうしや き わたし なに
もう1つは私自身ですが、昔変な業者が来た。私は何もわからずにサインをしてしまいま
した。ところがあとで聞いたら、変な業者だった、押し売りとかわかったので、これはだめだとい
うことで、すぐ支援センターの方に相談して解約をしました。あのときは本当に変なものにはま
ってしまったことに、ほんとう ほんせい
ほんとう ほんせい
今では本当に来る回数は減りましたが、たまに変な訪問販売も来ます。あとは変な「布団要り
ませんか」ということもあります。そういう時は本当にもう恥ずかしくないで、本当に「要りま
せん、買いません」と言ってください。もしそういう変なものを買った場合は、すぐ家族とか職
か かい かい へん か ぼあい か ぞく しょくば
場の方々、または支援センターの方にも相談して「こういう変な訪問販売が来ているので、何とか
かたがた しえん ほう そうだん へん ほうもんほんばい き
してくれないか」と対応してもらえればいいと思います。

いま ほんとう く かいすう へん ほうもんほんばい き へん ふとんい
これからですが、本人活動は今本当に頑張っているところもありますが、1週間前に新しい
ことにチャレンジを始めました。それは、ダンスです。私音楽が好きで、まったく振り付けをど
うする点もありませんが、実は1週間前にここではないが、地元の方でダンスを踊ってき
ほんにんかつどう いまほんとう がんばり しゅうかんまえ あたら
わかしおんがく ナ ふ っ
てん じつ しゅうかんまえ じもと ほう おど

ました。もう初めてでしたが、みんなで踊ることは本当にいいなということを感じました。
これからも、ダンスも活動を入れてやっていきたいと思ひますし、岩手県全体、本当に岩手県は広いところですので、当事者の本人の会の方々とこれからもスキルアップをしたり、あといろんな勉強会があると思ひますが、交流をしていきたいと思ひますし、面倒でも本人活動をしていきたいということで、岩手あおぞらの会について紹介をさせていただきました。

<司会者 佐藤武敏>

ありがとうございました。ただいまの発表に質問やご意見などありませんか。

<質問者 オオキ>

秋田県コロニーケアホームのオオキコウジです。今発表した下道さんの、ほかの人で具体的に買ったものは何ですか。私もホームにも押し売りが来たので、どういふふうに対処すればいいか教えてもらいたいです。

<いわて青空の会 下道>

押し売りが来たのは、水道業者でした。私は、岩手県花巻市、今年高校野球で沸かせた花巻東の近くにいるが、普通であれば花巻市の水道課の人が来て見るが、それが全く違ってよその会社、ここでいえば盛岡市と言つていいかなと思ひますが、盛岡市の某水道業者さんが来て、私花巻駅のそばに住んでいますが、ここのホームの水道がどうのこうので直しますよと言つて、もう全くわからないのに、サインしてしまつた。あとであれば思つたらもうすぐ押し売りだということがわかつて、支援センターの方にすぐに電話して、解約をしてもらった。

訪問販売が、例えば高い布団を売りに来たとしますよ。その時はもし来た場合の話ですよ。本当にそういう時はもう「要りません、本当に要りません」と言つてください。それでもだめな時は、支援センターか、あと職場の方、または親に「そんなの要らないから入れないで」と、大きい声を出してもいいです。勇気を出してやっってください。そうすれば訪問販売は来ないと思ひますので、ぜひ活用してください。

<司会者 支援者 横尾>

時間の方にも大分余裕がありますので、先ほど発表して下さつた、青森県のレインボー青森さんの方への質問でももし聞き逃してしまつたつたというのがありましたら、ご質問の方構いませんのでよろしくお願ひします。

<質問者 タカハシ>

秋田市から来ました、タカハシヒロオです。岩手あおぞらの会の下道さんに質問があります。何の曲でどんなダンスを踊つてますか。教えてください。

<いわて青空の会 下道>

質問ありがとうございます。実はダンスを2カ月前に始めたばかりです。全然ダンスを踊つたこ

ともなくて、何を踊ったかという、最初盆踊り的なことをすると思いましたが。ところが実際踊った曲が、韓国で、多分皆さんわかんと思ひますが、KARAの「ミスター」を踊ったということです。さすがに私、これは困った。どうすればいいかと、じゃあやれというから踊った。もうそれはびっくりしました。私、踊りは本当にすごく好きで、これから機会があればまた踊りたと思ひておひります。

<質問者 サトウ>

宮城県のサトウヨウキと申します。ここにクーリングオフって書いてありますが、どういふことか説明してもらえますか。

<いわて青空の会 下道>

クーリングオフというのは、多分大体7日間くらいかな、解約をするといふのをだせばいいと思ひますが、もしわからなかつたら、皆さんが住んでいる市町村の何課と言へばいいか、忘れましたが、その課に聞いてもいいですし、あと育成会に聞いてみるのもいいです。もう1つ私がかわるとすれば、県民生活センター、東北の各地にそういうセンターがありますので、そこに聞いて「クーリングオフをしたいが、どうすればいいですか」と聞けばわかんと思ひますので、ぜひ相談してみてください。

<質問者 サトウ>

ありがとうございます。あと訪問販売で何か「結構です」と言ふと売り込みに来るらしいので「要りません」といふこと。「結構です」と言ふと両方に取れるので、それはやめてくださいといふことです。シルバーの勉強会で聞いた話で、リンゴとかカニとかを売りに来た時に「結構です」といふと押し売りされるそうです。

<いわて青空の会 下道>

そうですか、わかりました。訪問販売が来たとしてもそういうのも、無視してもいいです。うちも昔、何とか宗教とか、キリスト教に入りませんかといふ勧誘に来た。でも、もう無視しました。もう無視してもいいです。その方が訪問販売は来ないと思ひますので、そういうのもアドバイスかなと思ひます。

<質問者 サトウ>

秋田県の光の会の代表です。佐藤工と申します。青森県本人の会、レインボー青森の方々にお聞きしたいが、年に3回しか活動していないといふ資料見せてもらいましたが、ほかには活動とかはしていないですか。

<レインボー青森 外川>

今の質問ですが、この資料に載っているとおりだけです。こういう感じでやっているだけで、あと何にもやっていない。あと、月に1回ぐらい役員会をやったりとか、そんなものだと思ひます。

＜質問者＞

山形から来ました。岩手のあおぞら会で、携帯に変なもの来たということで、聞きたいことがあります。どんなものですか。

＜いわて青空の会 下道＞

変なメールは私、携帯電話を買った頃の話ですが、最初に来たのが、友だちを紹介するというわけのわからないメールだった。それで私、何の対策したと思います。全部消しました。その方が変なメールにいかないと思います。さっき説明が足りませんでした。携帯電話のワン切り、最初に来たのが東京でした。03です。次に来たのが大阪06でした。その次、今会場におります樋口さんのいる宮城022ですよ。最後、どこから来たと思います。札幌011ですよ、わけわかりません。ですから、全部無視します。その方がワン切りも、ワン切りしてももう来ない。変なメールが来ててももう無視する。これが本当に変なメールには入らないことと、あとワン切りはもう無視すること、この2つが私の対策です。

＜質問者＞

僕も同じで、パソコンでインターネットの中でいやらしいことがありましたが、どうやって消せばいいでしょうか。

＜いわて青空の会 下道＞

私は携帯電話も持っています。パソコンも持っています。ただパソコンは、メールは一切使っていませんが、仮にパソコンで変なメール、変なサイトが出たらその時は、自分で消せない時は、支援センターの方に手伝ってもらって変なサイトは消した方がいいと思います。

＜質問者＞

レインボー青森の外川さん、「知る見る」でどういうどこで混乱しましたか。

＜レインボー青森 外川＞

初めてだったので、私たちがどういふふうにならざるゲーム的な感じで、みんなわかりやすいように、説明すればいいのかわからなくてパニック状態になって、適当に作って、やった記憶がありません。

＜質問者＞

仙台で、東京からナラザキさんが来て、「知る見る」をやったことがある。その時に○×方式で「女の子はお父さんと何歳まで入っていいか」、して「男の子はお母さんと何歳まで入っていいですか」という、「知る見る」もあった。

<レインボー青森 外川>

私たちはそういう感じでやったのではなくて、本当にみんながわかりやすいように、自分たちで勝手に作ってやったプログラムだった。

<司会者 佐藤武敏>

次に移りたいと思います。宮城県のみやぎフレンズ会の活動を紹介してください。

<みやぎフレンズ会 樋口>

みやぎフレンズ会会長の樋口亮介です。最初に今年の活動内容に入る前に、今日の大会紙上の一番下に載っている写真から説明をします。一番下のケーキの写真がありますが、実は去年12月に、ちょうどクリスマス時期ですが、フレンズ会で初めて調理実習をやり、ケーキ作りが簡単にできるということを知ってやったところ、大変おいしいケーキができたのを覚えてます。

次に、みやぎフレンズ会会員数について、資料には載せてはいないが、現在40人近くの会員がいます。フレンズ会の会費については、1,500円の会費を集めています。その会費の中で案内、お知らせの文章を発送したりで使っております。

次に、今年の活動内容を説明させていただきます。

本年度からフレンズ会では、AチームとBチームというふうにして、Bチームは新たに作り直した。2つの体制で活動を行っています。主に役員会、年間3回で4月、10月、1月の3回行っています。今年の6月に、定期総会と交流会という形で行いました。先ほどヨウキチさんの方で話がありましたとおり「知る見るワークショップ」ということで、〇×クイズや、この時どうするというSSTトレーニングに近いトレーニングというか、ワークショップをやりました。

これはフレンズ会Bの方になりますが、音楽イベントということでカシワテツさん、去年宮城県大会で取り入れてた音楽太鼓をやったり、そういう活動も行っています。

あとはスポーツ大会で、綱引き大会とか、今日のようにブロック大会や全国大会などにも参加をしています。これからの役員会で年末行事を話し合う予定でいます

今年から新しくフレンズ会の会報を作る広報委員会を作りました。年に何回というのは決まっていますが、イベントあるごとに2つ行事を一緒に載せたらいいなと考えていて、年に1回、2回ぐらい出せたらと思っています。

<司会者 佐藤武敏>

ありがとうございました。ただいまの発表に質問やご意見などはありませんか。

<質問者 佐藤>

秋田県のヒカリの会の佐藤です。6月に行なっている定期総会と交流会では、どのようなことをやっていますか。

<みやぎフレンズ会 樋口>

今年^{ことし}は役員改選^{やくいんかいせん}の年^{とし}にあたり、役員改選^{やくいんかいせん}や会計報告^{かいけいほうこく}などの話し合い^{はな あ}をしたあとに、毎年^{まいとし}ですとカラオケでしたりとか、そういうレク^{てき}的な活動^{かつどう}でしたが、今年^{ことし}から去年^{きよねん}やったのを機^きにワークショップをやりました。内容は、先ほど説明^{せつめい}をさせていただいたとおりに、〇×ゲームや、こういう時^{とき}はどうするみたいな形^{かたち}で、何人^{なんにん}かの方に役^{やく}をやってもらってやりました。

<質問者>

山形^{やまがた}から来^きましたヨシミツです。フレンズ会^{かい}で、大きな行事^{おお ぎようじ}がありますか。

<みやぎフレンズ会 樋口>

特^{とく}には今^{いま}のところはないが、今後^{こんご}役員会^{やくいんかい}と事務局^{じむきょく}の方^{ほう}で検討^{けんとう}をしていきながら、やれる範囲^{はんい}の中^{なか}でやっていきたいと思^{おも}っています。

<質問者 ヨシミツ>

僕^{ぼく}のところの会社^{かいしゃ}では、芋煮会^{いもにかい}などの大きな行事^{おお ぎようじ}いっぱいあります。そのうち^{おお}に大きな行事^{ぎようじ}みんなでやりたいこともあります。本当^{ほんとう}にありがとうございました。

<司会者支援者 横尾>

ワークショップ開催^{かいさい}しているということでしたが、〇×とか、こんな時^{とき}どうするということをやっているということでしたが、何か自分^{なに じぶん}のところでこういうことやっているとか、どういった〇×やっているかとか、ないですか。

<みやぎフレンズ会 樋口>

〇×の中^{なか}ですと「お酒^{さけ}、たばこは20歳^{さい}、未成年^{みせいねん}の方は飲^のんでいいのか」とか、あとは「こんな時^{とき}どうする」の中^{なか}で、例えば買^かい物^{もの}に家族^{かぞく}の方^{ほう}と行った時^{とき}に、自分^{じぶん}もこれが欲^ほしいのに「これにしたら」とかと言^いわれた時^{とき}に、どうい^いうふう^{ふう}に自分^{じぶん}だったらしたいかという話^{はなし}、内容^{ないよう}、身近^{みぢか}なことを取り入^とり入れてやっています。実はワークショップも去年^{きよねん}が初^{はじ}めてで、最初^{さいしよ}は講師^{こうし}に来ていただいてやったのがきっかけでした。

<司会者 佐藤武敏>

次^{つぎ}に山形県^{やまがたけん}のひまわりの会^{かい}の活動^{かつどう}を紹介^{しょうかい}してください。

<ひまわり会 イガラシ>

皆さん、おはようございます。山形県^{やまがたけん}は川西町^{かわにしちよう}から来た、ひまわり会^{かい}会計^{かいけい}をしてるイガラシと申^{もう}します。ひまわり会^{かい}は、希望^{きぼう}が丘^{おか}共同生活事業所^{きゆうどうせいかつじぎようじよ}のグループホーム、ケアホームの入居者^{にゆうきよしや}と、総合コロニー希望^{きぼう}が丘^{おか}を退所^{たいしょ}してアパートなどで生活^{せいかつ}している方々^{かたがた}でつくる本人^{ほんにん}の会^{かい}です。平成^{へいせい}18年からひまわり会^{かい}となりましたが、それ以前^{いぜん}はダニアル会^{かい}として活動^{かつどう}していました。

ひまわり会^{かい}は現在^{げんざい}43名^{めい}会員^{かいいん}がいます。会員^{かいいん}が生活^{せいかつ}しているホームは、山形県^{やまがたけん}の南部^{なんぶ}に散らば^ちってあります。月^{つき}1回^{かい}の役員会^{やくいんかい}や各種^{かくしゆぎようじ}行事^{ぎんぎ}のために、電車^{でんしや}やタクシーなどの交通機関^{こうつうきかん}を利用^{りよう}す

必要がありますが、交通の便が悪いので大変です。役員会では総会で選ばれた会長、副会長、会計、各ホームの代表役員が、川西町にあるサポートセンター「コロコロ」で行事などの活動について話し合いをします。

ひまわり会は、5名のボランティアの方に手伝ってもらっています。役員会、各種行事の手伝い、付き添いなどをお願いしています。行事は歓送迎会と、ボウリング、手芸、日帰り温泉の3つの愛好会、1泊旅行、バス旅行、芋煮会、ボウリング会、スポーツ大会、総会があります。ひまわり会の会費は、毎月1,000円ずつ集めています。行事などの経費、ボランティアの付き添い旅費、慶弔費などに充てています。

本年度は残念ながら中止となってしまいましたが、神奈川の本人の会と交流を行っています。ひまわり会の代表が神奈川のシンポジウムに参加したり、神奈川の方が山形に来て一緒に行事を楽しんだりしています。この交流では、神奈川の方の積極的な活動にとっても刺激をもたらしています。

ひまわり会のメンバーは、平日は職場や日中活動などそれぞれの場所で活動し、ホームやアパートに帰ってきます。休みの過ごし方もそれぞれですが、ひまわり会は、ひとりではできないようなこともメンバーが集まるとできるし、たまに会えるメンバーと楽しい話や悩みなど話すことができます。

ひまわり会は、ボランティアや地域の方、センターのスタッフなど様々な方々と関わりながら、自分たちが毎日元気に楽しく生活するための会となっています。私は、これからの活動としては、ふれあいのテーマに基づいて、川西町だけでなく山形県内で暮らしているグループホームの皆さんとの交流ができればいいなど考えています。

<司会者 佐藤武敏>

ありがとうございました。ただいまの発表に質問やご意見などありませんか。

<質問者 タカハシ>

秋田市の杉の木園のタカハシといます。質問は2つあって、神奈川県はどこに泊まりましたか。もう1つは、神奈川のおいしいもので、何が一番おいしかったですか。

<ひまわり会 イガラシ>

今の質問ですが、自分はまだ神奈川の方に行っていないので、名産とかかわっていません。

<質問者 タカハシ>

今の質問わかりましたが、もう1つは、毎月の会費1,000円は、どういうふうに使っていますか。杉の木園の自治会の会費として、毎月100円を集めています。

<ひまわり会 イガラシ>

会費の使い方は、ひまわり会に入っている皆さんの行事、旅行に行ったりとか忘年会やったりだとか、その経費に充てたり、誰か冠婚葬祭あった場合、その慶弔費に使われています。

＜質問者 ナカムラ＞

秋田県の羽後町のひばり野園からまいりました。利用者さんはナカムラさんと申します。私たちが生活している場面は入所施設で、ほかの利用者さんとのトラブルも結構あり、いろいろな悩みも抱えているわけですが、職員に話してもなかなか解決の目途が立たないようなこともあるが、ひまわり会の皆さんは、メンバーの方々といろいろな楽しいお話や、悩みごとを話すというようなことをお聞きしましたが、普段はどのような悩みごとを持っていらっしゃるのか、質問したいと思います。

＜ひまわり会 イガラシ＞

ただいまの質問ですが、各グループホームに、お話し聞ける世話人さんが毎日来ますので、日中は会えないが朝と夕方は会いますので、困ったことは世話人さん、ワーカーさんと呼びますが、ワーカーさんを通じて解決したりなど、それでワーカーさんがいない場合は施設の職員の方が何人かいます。

＜質問者＞

慶弔費はどういうものですか。

＜ひまわり会 イガラシ＞

慶弔費というのは、親、身内か、家族が亡くなった場合に、香典として支払われるお金が慶弔費ということになります。

＜質問者 下道＞

先ほどの説明の中で、会長、副会長、会計及び各ホームの代表役員というのがありました。役員の任期は何年でしょうか。

＜ひまわり会 イガラシ＞

2年です。

＜司会者 佐藤武敏＞

ほかにはないでしょうか。なければここで休憩に入りたいと思います。10時50分から再開しますので、ここへまた集まってください。

(休憩)

＜司会者 佐藤武敏＞

再開します。山形県の各駅停車の会の活動を紹介してください。

＜各駅停車の会 サトウ＞

山形県の各駅停車の代表のサトウトシフミです。各駅停車の会は、障害を持っていて主に仕事をする人たちのサークルです。自宅で生活をしている人たちが多いですが、グループホームや施設に入居している人でも参加できます。

この会は、地域支援センター心音のジョブコーチが、就労支援をしている人たちに余暇の時間の生活支援の必要性を感じ何か活動を応援したいとの思いから、平成19年度に始めました。名称は、僕たちは新幹線みたいに早くないから各駅停車だねと、参加メンバーで決めました。5、6人だった参加者は、今では十数名参加、多いときには20名以上参加があります。はじめのうちは、スタッフが主導で活動内容を決め案内状を送っていましたが、今ではパソコンで案内状作成し、発送までメンバーが行い活動内容も自分たちで決めます。お花見やカラオケ大会、バトミントンや、ボーリング大会、バーベキュー、山寺参拝などです。また、料理活動でカレーライスやハンバーガー、デザートづくりなど、いろいろ食べたいものを作っています。去年クリスマス会でスポンジケーキを焼き、デコレーションをしました。各駅停車の会の名前のおり、電車やバスで出掛けることもあります。いつもおやつ代など300円会費ですが、外食のときやバーベキューのときなどは少し高くなります。去年、念願の温泉1泊旅行で電車で行きました。自炊棟を貸し切りし、自分たちでメニューを決め、みんなで調理しました。温泉はいつも、あのあとのビールがとてもおいしかったです。みんなで遅くまで飲みながらおしゃべりをしました。楽しい思い出でいっぱいです。今年も蔵王温泉に行く予定です。忘年会や春の飲み会が楽しみのひとつです。居酒屋、イタリアンレストラン、焼肉などに行きます。

楽しい活動が中心の会でしたが、これからは、話し合いの会、ワークショップを取り入れます。山形市防災センターへ見学に行き、地震体験をしてきました。これもまでも山形県立博物館へ何度か行きました。これからもいろいろ勉強を予定しています。今年の2月、仙台での行なわれた「知る見るプロジェクト」に参加したメンバーがいたので、ワークショップの中で少しずつ取り入れています。当初は、電話を掛けるのが難しかったです。スタッフと一緒に多くのことを学び、いろいろなことができるようになりました。メンバーのみんなのすばらしいところは、誰にもすぐに仲間に入れ、取り入れていける優しさを持っているところです。みんなでいつも仲間を応援していますが、これからはできないことはスタッフと一緒にいろいろ挑戦していきたいです。

＜司会者 佐藤武敏＞

ただいまの発表に質問やご意見などありませんか。

＜質問者＞

花見をどこでしたんですか。

＜各駅停車の会 サトウ＞
山形の霞城公園というところです。

＜質問者＞
活動の中で電車に乗って活動をすということですが、会の中に電車好きな方がいということなんでしょうか。

＜各駅停車の会 サトウ＞
そうでもないです。

＜質問者＞
続けてあとは、何を作っていますか。

＜各駅停車の会 サトウ＞
ケーキなどです。

＜質問者＞
会費300円ですが間に合いますか。

＜各駅停車の会 支援者＞
基本的に大体300円ぐらいで行なっていますが、バーベキューや泊まりに行くとか、外出とかというときは、別途それにかかる費用が会費となっていて、一律ではないです。

＜司会者 佐藤武敏＞
世話人の高橋さんから何かありませんでしょうか。

＜世話人 高橋＞
本人さんたちが考えて、いろんな行事立てていることがすごくすばらしいと思う。現実的にはその内容を吟味したりする支援者がいるのではないかとと思うが、サポートするところは、どんなところに気を使って、できるだけ本人の意思に沿ったところを支援していただいているのかなというのは、私もその本人活動を支援する立場からして、もしできればその辺をお聞きしてみたいと思う。

＜各駅停車の会 支援者＞
基本的には本人たちで話し合いを持てるように配慮していますが、話し合いが煮詰まったとか、やっぱどうしてもわからないところがあるときに、スタッフがちょっとアドバイスをするというような形で話し合いの場をまとめるような形で入っています。この毎月活動を2回やっているが、その活動内容を定めるためにそのほかにもう1回、役員だけ集まって話し合いをするという形で、役員は、月3回ぐらい来てもらってやってる形になりますね。

そういうな感じかんで毎月まいつき話し合あいをしてるので、会かいを重ねるかさごとに本人ほんにんさんたちだけでできる
ようにはななってなってきているという現げんじよう状じようです。

<世話人 高橋>

月3回も役員やくいんの会かいをしているというところところにすすごくくびびっくりりしました。

<質問者>

秋田あきた県のヒカひかリの会かいのものものですが、地震じしん体験たいけんは、毎月まいつきややっているののでしょうか。どこでや
ってやるるんででしょうか。

<各駅停車の会 サトウ>

毎月まいつきではありませません。防災ぼうさいセンターせんたーです。

<司会者 佐藤武敏>

ほかほかにななければ次つぎに移うつります。福ふくしま島ま県のスタートかつどうラインしょうかいの活動かつどうを紹しょう介かいしてくだささい。

<スタートライン 吉田>

私わたしたちは福ふくしま島ま郡ぐん山やま市しというところところから来たスタートかつどうラインしょうかいの吉よし田だ茂しげ士しといいます。
私わたしの本人ほんにん活動かつどう。本人ほんにん活動かつどうで学まなんだこと。いろいろろなところところで活かつ動どうしている方かた々がたのお話はなし
を聞きいてみると、自分おれが思おもい描えがいているよりも具ぐ体的たいてきなことが見みえてくるので、すすごごいこと
だだなと思おもいます。本人ほんにん活動かつどうで困こまったななと思おもったこと。他たの今いままでそそんなに交こう流りゆうが少すくない人ひと
との会かい話わ、情じよう報ほう交こう換かんなどのやり取りとに四し苦く八はつ苦くする場ば面めんが常つねにあるところところです。本人ほんにん活動かつどう
で楽たのしかったこと。震しん災さい前まえは、ハイキつング、イワナ釣たいけんり体と験げん、捕とったさかなをその場ばで焼やいて
昼ちゆう食じよくにいたいだいたことことは、一いち番ばん鮮せん明めいに思おもい出だすことことです。震しん災さい後ごは芋いも煮にかい会かい、ポポーリりング
などなどです。芋いも煮にかい会かいでは、自分おれたちで野や菜さいを採とりいろいろろな食じよくざい材つかを使つかって料りよう理りしたことことは、
ととても感かん動どうし思おもい出だに残のこる芋いも煮にかい会かいにななったことことです。本人ほんにん活動かつどうを通つうじて良よかったことことは、
ややはり全ぜん国こくの多た方ほう面めんで活かつ躍やくしてききた方かた々がたと末すえ永ながく付つき合あい、交こう流りゆうでききていることことに尽つきる
と思おもうことことです。最さい後ごにこれこれからややりたいことこと。日に本ほん中じゆう、全ぜん世せ界かいの多たくの人ひとたちたちに、本人ほんにん活動かつどう
のすすばららしさを伝つたえていいきたいです。以い上じようです。

この今いまの発はつ表びようで、皆みなさんさんに写しや真しんを作つくりました。写しや真しんでわわかかつつていいたたきたいと思おもいます。
スタートかつどうラインしょうかいの活かつ動どうをこれこれから流ながします。

これは、震しん災さいでまた同おなじことことがああったときときにどどうしたよよいとか、そそういいうことことにつついてみ
んなで話はなし合あいながなら進すすめた研けん修しゆう会かいの様よう子すです。これは、各かく地ちで本人ほんにん活動かつどうを通つうじて頑がん張ば
っている方かた々がたと一いち堂どうに会かいして、昨さく年ねん行いった研けん修しゆう会かいと勉べん強きやう会かいの様よう子すです。テてマまは虐ぎやく待たいにつ
いての研けん修しゆう会かいといいうことことで、講こう師しは明めい星しやう大だい学がくでで活かつ躍やくされていいる教きやう授じゆうの吉よし川かわかおかおおりりさ
んを講こう師しにお呼よびしてして虐ぎやく待たいにつついての研けん修しゆう会かいを行おこなないいました。これは、虐ぎやく待たいをしていいる
様よう子すをちちよよつつとアあドどリりブぶ芝し居い的てきに行おこななったものものです。毎まい年ねん開かい催さいするすることことに人ひとがが増ふえていいくくの
で良よいことことだだななと思おもいます。昼ひる間まの研けん修しゆう会かいが終おわわったああと、夜よるにはみみんんななで打うち解とけて、

ひるま かの ひようじよう やわ ひようじよう ふくしまけん
昼間の硬い表情から柔らかい表情になって、いろんなことができます。これは福島県
を会場に、手をつなぐ育成会の県大会が行なわれたときの様子です。やっぱり夜は燃え上
がります。これは、私たちがいる市内のグループホームをメンバーが集まって、何箇所か
見学しました。これは昨年ビニールハウスをお借りして、スタートラインのみんなとほかの
あと各地で活動している本人さんたちが集まって行なった芋煮会と収穫祭の様子です、農
業体験です。スタートラインは、月に大体遊びとかじゃなくって、まとめてこういうホワ
イトボードとかに確認したり、あとみんなで計画を練ったり皆さんからの意見を聞いて行な
って活動しています。ホワイトボードに記録すると、その内容、みんながわかりやすいと思
うので行なっています。みんな、ホワイトボードに書いたものを話し合ったり、それぞれ記録
とか、自分でメモを取ったりしながら、あとみんなでその出たことを話し、そのテーマに絞
って話し合ったりすることもあります。これは県外の本人さんを招いて開いた勉強会です。
このときは、神奈川県で全国で活動していらっしゃる、ナラザキさんをお呼びして勉強会
を行いました。これは、一緒に住んでいた地域から、まだ群馬県で避難している方々を訪問
したときに行なったレクリエーションの一場面です。このときは泊まりで行って、2日目は
群馬県の高崎市というところの、今世界遺産にもなりそうな富岡製糸場という工場と
かを見学しました。これは今年の様子です。このときは、やっぱり各地で活動している方々
とバーベキューを通じて交流し、いろいろ盛り上がったものです。これはそのときちょう
どその市内で花火もあったので、一緒に花火までいて、友好とか会話で盛り上がりました。

し かいしや さとうたけとし
<司会者 佐藤武敏>

ありがとうございます。ただいまの発表に質問やご意見はありませんか。

しつもんしや
<質問者 オオツキ>

秋田県のおオツキコウジです。吉田さんに聞きたいんですけども、福島県は地震で大変だ
ったと思いますが、震災のときの吉田さんの状況を教えてください。

よしだ
<スタートライン 吉田>

私は地震のときは、グループホームに入っていた。その時刻は風呂掃除をしていて、自分
の部屋に戻ろうと思ったときに揺れがきた。その風呂場の脱衣所から動くことができなかつ
た。部屋に行ったところたんすが倒れていて、ちょっと時間がずれていて戻っていたらどう
なっていたかわかりません。

その震災が起きてからは、群馬の事業所で働いた。そのときの仲間たちはまだ群馬にい
ますが、避難生活が結構長いので、その人たちも早く避難生活からみんな解放され、避難生活
がなくなって欲しいです。

しつもんしや
<質問者>

同じく秋田県のもので。群馬に避難された方たちはどのような理由で避難されたんでし
ょうか。

<スタートライン 吉田>

震災のときに自分は原発を抱えている地域にいたが、津波とか放射線がなかったら戻りたいです。それで長期に渡って避難生活をしてます。

<質問者 サトウ>

フレンズ会のサトウヨウキチです。これからやりたいことですが、日本中、世界のより多くの人たちに、本人の活動のすばらしさを伝えていきたいということですが、具体的にどういう形のすばらしさなんでしょうか。

<スタートライン 吉田>

いろいろなところに出ることで、まだわからないことが皆さん含めて私たちもあると思う。そういうことをいろいろなところに行って、勉強とか研修でいろんな多方面、いろいろな人の話を聞くことによって、自分たちのところでも役に立つと思う。

<質問者 サトウ>

本人活動の勉強をして、それからすばらしいことを伝えていきたいということですね。

<質問者>

吉田さんに聞きたいことがあります。ボーリングやられたときは、どこでやってますか。

<スタートライン 吉田>

自分のいた地域のボーリング場、震災後は郡山、全国にあります。ラウンド・ワンというところですよ。

<質問者>

続きまして、ここに載ってる本人活動で困ったなと思ったことを聞きたいです。交流が少ないというのはどの意味ですか。うちは、フレンズ会は交流会がたくさんあるので、吉田さんはいろいろな交流会はありますか。

<スタートライン 吉田>

年間通してみると回数は多くやって、いろんなところに行っていてやっていると思います。

<質問者>

ありがとうございました。楽天とか野球のときも観に行くときはありますか。

<スタートライン 吉田>

テレビです。自分は実は楽天のファンなんで、優勝したときはやったと思いましたね。心の中でガッツポーズしてました。やっぱり東北のチームを応援したいと思う。

<質問者>

震災後はどのようにして活動を一緒にされている方と連絡を取り合っていましたか。

<スタートライン 吉田>

もともと一緒にいたから、群馬県の方に一緒に避難したし、あと電話や行ったり来たりがちょっとあった。

<質問者>

楽天ファンでしたか、ケイスタに見に行行って盛り上がってください。

一番好きな選手は誰ですか。

<スタートライン 吉田>

やっぱり監督です。

<質問者 ハヤサキ>

青森のハヤサキです。ヨシダさんに質問で、芋煮会ですか、何回ぐらいやっていますか。

<スタートライン 吉田>

一年で大体芋煮会の季節は、10月の中旬あたりからちょうどその辺りが気候的に暑くもなく寒くもない時期です。

<司会者 佐藤武敏>

質問がなければ次に移ります。秋田県光の会の活動の紹介させていただきます。

<光の会 佐藤工>

皆さんはじめまして、ヒカリの会の佐藤工と佐藤工紀です。

地域の中で、当たり前前に安心して暮したいというみんなの願いのもとで生れた光の会について紹介します。

はじめに、光の会の基盤づくりとなったのはミニディサービスでの活動を通し、私たちの意見を聞き活動を始めました。当初の頃は、2カ月に1回のペースで、遠い所であれば角館方面に行ったり、または、町内で活動してきました。今では私たちの活動場所でもあり、集ってきた仲間づくりの原点でもある生活支援センター「ささえ」が開所され、地域の人たちにも親しまれてきたと思います。9年後、強制的ではない自由な会として運営のもと、スタッフ会議を開きながら、仲間との助け合い反省点などを通して楽しい会でもあり、勉強になる中身の濃い会になってきました。16年度とは違ってきた部分は、3月の総会でみんなが集まり意見を出し合いながら1年の活動計画を決め、テーマ委員は、自分がやりたいと手を挙げる人たちが増えてきました。

< 光の会 佐藤工紀 >

24年度の活動について、紹介します。6月に行った森吉山散策では、毎年来る徳川さん夫妻にお会いしてボディパーカッションを披露しました。8月には北秋田市内を走っている内陸線存続のために、お座敷列車を利用して角館にも行きました。今のところの25年度の活動で印象に残っているのは、7月に行なったキャンプです。夕食作りは自分たちで頑張りと、おいしいカレーができました。公共交通機関の勉強では、大館市ではなく、秋田市にも行きました。そのときに駅員さんに療育手帳を見せることによって、お金が半額で切符を買えることがわかり、勉強になったという声がたくさん聞かれました。

< 光の会 佐藤工 >

まとめ。計画の実行や実践を通し、自信がつきはじめ生きることへの力と前向きな捉え方が育ち始めました。自分でできることが増えてきました。結果、親に依存しない自主性も芽生え始めています。考える力、話す内容の整理など、他者との話し合いができるようになりました。地域の理解も広まりつつあります。地域住民との挨拶や対話もでき、地域活動への参加もできるようになってきました。今私は、充実した休日を過ごせるようになってきました。また、光の会の仲間とのコミュニケーションを深めることによって、職場や家族とは違った絆が生れてきてうれしく思います。

< 光の会 佐藤工紀 >

自分は就職してから、「ささえ」の中で活動している光の会を知りました。最初は、ほかの人たちとどう接していいのかわからず、慣れるまで時間がかかりました。今では、慣れてきて毎月行事に参加しています。楽しい行事は、キャンプや角館旅行、忘年会などです。今でもアドバイスをもらい毎月参加しています。職場の人との接し方にもつながる部分があり勉強できます。これからも参加したいです。

< 光の会 佐藤工 >

今年の「ささえ」のテーマは、「つなぐ」です。これからはさまざまな活動をとおして、地域の人たちにも理解してもらえるように活動していきたいと思います。

< 光の会 佐藤工紀 >

最後まで聞いていただき、ありがとうございました。

< 司会者 佐藤武敏 >

ありがとうございました。ただいまの発表に、質問やご意見などありませんか。

< 質問者 サトウ >

サトウヨウキと申します。計画の実行や実践を通してと書いていますが、実行と実践は、どういうふうに違うのか、説明をお願いします。

＜光の会 佐藤工＞

実行と実践は、同じです。月に1回スタッフ会議というのを開き、みんなで意見を出し合いながら話し合いをして、それから計画に移そうということをやっています。

＜質問者＞

最初やり始めた当初、どのようにしてメンバーを集めたりしてきたのでしょうか。結構やり始めるのにメンバー集めが大変だというイメージがあり、その辺をお聞かせください。

＜光の会 佐藤工＞

最初は5、6人しかおりませんでした。まず名前が4つ出ました。「希望」「勇氣」、あともう1つは「仲間」かな。その4つくらい出ましたが、その4つの中の1つに絞って、そこから「光の会」というのがでて、「光の会」という会ができました。それから段々と仲間が増えてきました。

＜光の会 支援者＞

補足します。社会福祉協議会で、障害者のミニディサービスを開催してくれた。それで4人ぐらいの仲間から始まって、そして、その活動が終わったと同時に、自分たちが何かしたい、コーヒー飲みにいきたいとか、いろんな活動をそういうちょっとしたことなんです。が、こんなこともできなかつたのかなということをおんなから話し聞きまして、そして、じゃあ1カ月に1回ぐらいだったら私がサポートできるかなということから始まった会です。

＜質問者 下道＞

岩手あおぞら会の下道ですが、最初のころの計画より、今の24年度の活動がすごく充実してきた、本当にここまで成長したということはずごいということだなというのが本当に事実です。1点だけちょっと聞きたいが、現在70名の登録者と書いてますよね。本人が約50名ですが、残り20名はどういうメンバーが入っているのでしょうか。

＜光の会 佐藤工＞

約20名は、本人たちのご家族のお母さんや地域の人たちも一緒に活動の仲間に加えさせてもらっています。

＜質問者 下道＞

ありがとうございます。なんか今後が本当に楽しみです。

＜光の会 佐藤工＞

ありがとうございます。私たちはもうネーミングでは印象づけられて、ああ、光の会があるとなっているが、初めて聞く人にしてみれば、なんだこれ、なんか変な宗教団体なのかなとか、なんかそういう誤解を招くかもしれませんが、光の会は違います。みんながひとりひとりいろんな考えを持ち、そしてその話を聞き、みんなで決めて活動している会

です。今後も地域の人たちとのかかわりやふれあいを、常に忘れずに活動していきたいと思っています。

<司会者 佐藤武敏>

あとほかに質問やご意見などありませんでしょうか。

あとなければ、最後に、我々たんぼの会の活動を紹介します。副会長の佐々木淳さんから、たんぼの会の説明をさせていただきます。

<たんぼの会 佐々木>

たんぼの会の副会長の佐々木淳です。はじめに、たんぼの会の設立について話します。平成23年4月きょうされん秋田支部総会において出席した利用者から、「秋田にも利用者部会をつくり、みんなと色々な活動したい」ということから提案があり、そのまま承認されました。その後、実行委員会の発足、利用者部会や名称や規約について話し合い、平成24年2月11日に設立総会を行ないました。

みなさん、「きょうされん」という団体をご存知ですか。1977年8月3日に障害を持つ人々の願いをもとに16カ所の無人化共同作業所で結成されました。現在は全国40支部、約1,900カ所の事業所が加盟しています。会員間の学習会、交流会、行政の要請運動、東日本大震災の被災支援活動、各種研修会を行なっています。きょうされん利用者部会は、支部のある都道府県すべてに利用者部会をつくり、自分たちのありのままの声、生活のこと、工賃のこと、将来のこと、制度のことなど、要望を多く人々に伝え、支援者と一緒になって国や自治体で働きかけつくられました。現在は全国40支部のうち19支部に利用者部会があります。

それでは私たちのきょうされん秋田支部たんぼの会の紹介と、これまでの活動について話します。

この会は、平成24年2月11日に設立しました。会員は35事業所を有している約500名の利用者が対象です。名称のたんぼの会については、全国の利用者が秋田県をイメージしやすい名称ということで考えました。「秋田杉」、「なまはげ」、「きりたんぼ」、「比内地鶏」、「かまくら」、「白神山地」、「はたはた」などたくさんの方の言葉が上げられましたが、その中から秋田県内の仲間が集まり一緒にきょうされんの活動をしていこうというイメージが、きりたんぼ鍋を囲み談議をする意味と重なったことから「たんぼの会」にしようということになりました。平成24年度に私たちが行なった活動は、総会では事業報告、事業計画、きょうされんの全国総会への代表参加者を決めました。交流会では平成25年3月秋田県能代市でミニかるた大会を行い、みんなと楽しみました。会員の交流を図り、朝食後には学習会を行いました。学習会では、私たちが取り組んでいる国会請願署名募金運動について支援者から教えてもらいました。国会請願署名募金運動は、平成24年12月13日に秋田駅で行ないました。平成25年3月11日秋田市サンマルシェで行ないました。

私たちがたんぼの会でこれから頑張りたいと思っていることは、会員のみんなと旅行がしたい、ほかの事業所の仕事体験をしたい、県内・県外の事業所を見学したい、たんぼの会の知名度を上げるため、ポスター作成したいなどです。これからもたんぼの会の活動

を広め、みんなの明るい将来のために頑張りたいと思います。以上で説明を終わります。

<司会者 佐藤武敏>

質問やご意見など、ありませんか。

<質問者>

ここで秋田県にも利用者の部会をつくり、みんなといろいろな活動をしたいという提案というのとその場で承認とありますよね。その意味をちょっと聞きたいが、提案と承認とはどういう意味ですか。

<たんぽの会 支援者>

平成23年度の初めての総会の際に、そこで出席していた利用者さんの方から、自分たちもきょうされんの活動に積極的に関わりたいということで、それで今日ここにいらっしゃる、高橋リョウさんからお話がありました。それが提案です。その総会ということで、全会員の事業者の皆さんが参加している場所で、すぐお話しした、利用者部会というのをつくってもいいですかということ、そこで参加者の皆さんがいいですよ、じゃあ頑張ってくださいということで認められたということが承認ということになります。

<質問者>

大分わかりやすく説明していただいて、ありがとうございます。

<質問者>

秋田の方にちょっと聞きたいんですけども、結構有名な本人活動があると思うのですが、何人か知ってる方がいますが、そちらの方には入ろうかなという機会がなかったのでしょうか。それをちょっと聞きたいと思います。

<たんぽの会 支援者>

「友だちの会」のことですかね、育成会で秋田県のある事業所に、友だちの会の方の運営、いろいろな交流会をしたりしていただきたいということをお願いされていたが、詳しいところの事情はわからなが、それを一旦休止しましょうということになりまして、私たちのこのたんぽの会が始まった23年ころからちょっと活動を休止しております。それがあれば、私たちが一緒に皆さんと利用者の活動をやっていきたいと思ったが、休止状態ということで、新たにこの「たんぽの会」というのをつくることにしました。

<質問者>

本人の会を支援しているものですが今、きょうされんのお話し、たんぽの会を聞きました。それは、そのきょうされんのグループの会だけではなくて、ほかの利用者の会の人たちも合流というのはできるんですか。

<たんぽの会 支援者>

まだ立ち上がって2年、実質活動は1年半くらいしか経ってないが、最初この設立に關しましては、利用者部会の規約を作った時点で、一応会員、きょうされん秋田支部に加盟している会員の事業者を対象ということで始めたので、よろしければ秋田支部の方に加盟していただければと思います。

<質問者>

私はそういえば友だちの会に10年ぐらい前本人会ということで、1回サポートしたことありました。それから10年経って、今日は特別東北大会ということでしたが、皆さんがものすごい力があって、すごい元気になった、自分たちの考えをどんどん言えて、いろんな活動をしていて力になっているということで、少し興奮していました。ありがとうございます。

<司会者 佐藤武敏>

ちょうど時間となってしまいました。これまで8つのグループの活動状況を報告してもらいました。まだまだ聞きたいことがたくさんあると思いますが、今日のそれぞれの活動の内容は大変参考になりました。各県に帰ってからいいところを取り入れて、充実した活動にしていきましょう。また、機会がありましたら交流を深めてまいりましょう。どうもありがとうございました。

<世話人 高橋>

どうもありがとうございます。長い時間、ご本人さんたちの本当の心というんですかね、お話を聞くことができ、私としても大変参考になりました。私たちにかけり市でも、本人活動始めて、まだ2、3年しか経ってありませんが、本人たちの本当の素直な気持ちをぜひ支援していきたいと思っております。

これをもちまして、第5分科会終了いたします。進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

お帰りの際は、お忘れ物のないようよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。